

執筆者紹介（五〇音順 肩書きは執筆時）

| | |
|-------|---------------------------|
| 伊東久智 | 早稲田大学文学史資料センター助手 |
| 岡本真希子 | （台湾）國立成功大學人文社會科學中心專案助理研究員 |
| 大日方純夫 | 早稲田大学文学史資料センター所長 |
| 紀旭峰 | 早稲田大学文学史資料センター非常勤講師 |
| 中川和明 | 早稲田大学文学史資料センター非常勤講師 |
| 真辺将之 | 早稲田大学文学史資料センター非常勤講師 |
| 望月雅士 | 早稲田大学文学史資料センター非常勤講師 |
| 湯川次義 | 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 |
| 弓野正武 | 早稲田大学高等学院教諭 |

編集後記

前巻（四三巻）でもお知らせいたしましたように、本誌の「早稲田大学リポジトリ」上での公開を開始いたしました。後日、本巻もインターネット上で閲覧していただくことが可能となります。グーグルなどの検索サイトから容易にアクセスすることができ、当センターホームページからもリンクを設定しておりますので、どうぞご活用ください。

また前巻の移行措置を経て、本巻より掲載内容が前年度下半期分（十一月一日）から今年度上半期分（一〇月末日）までとなり、より新しい情報を、より早く、みなさまにお伝えすることができるようになりました。

加えて、本誌末尾に掲載している「『早稲田大学史記要』編集要項」を改定し、要項に定めのない事項については、編集委員会において柔軟に対処することが可能となりました。今後、より良い編集体制を構築していく上で、第一歩と位置づけています。

さて、本巻では「写真データベース・戦後編」の概要と進捗状況をお知らせいたしました。前巻でご報告した「保守と革新の近現代史データベース」も含め、当センターでは利用者のみなさまの利便性の向上やレファレンス業務の効率化、あるいは「早稲田大学百五十年史」編纂のための環境整備を図るため、今後とも所蔵資料のデータベース化に努めてまいります。なお、「保守と革新の近現代史データベース」については、現在、より包括的な枠組みを備えたデータベースへの統合をも視野に入れつつ、作業を進めております。

末筆ながら、本巻編集に当たってお力添えをいただきましたみなさまに、この場をお借りしてあらためて御礼を申し上げますとともに、引き続き関係各位のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

（編集担当一記）